

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

瀬戸のエコハウス

グループの名称

せとうちエコライフ推進協議会

直近採択グループ番号

04-0442-0665

(グループ代表者)

代表者名

秦 忠弘

代表者印

代表者所属先

三王ハウジング株式会社

代表者所在地

愛媛県新居浜市阿島一丁目5番35号

代表者電話番号

0897-46-1511

(グループ事務局)

事務局事業者名

三王ハウジング株式会社

事務局担当者名

秦 照佳

印

事務局郵便番号

792-0896

事務局所在地

愛媛県新居浜市阿島一丁目5番35号

事務局電話番号

0897-46-1511

事務局FAX

0897-46-3120

事務局担当者E-mail

hata_teru@sanno-web.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		13	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	13	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)		3	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		7	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実		棟	/					
				m ²						
		申請が未確定	2	棟						
			430	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	原則均等割り当てであるが、経過を考慮しながら最低1戸は割当工事着手順に優先的に配分していく。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	8	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸のエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県、香川県、岡山県、兵庫県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) せとうちエコライフ推進協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0442-0665	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	温暖な地域で自然災害が少ない地域ではあるが、地球温暖化などの影響もあり、夏季の温度上昇によるエアコンなどへの負荷低減のため、断熱性能を省エネルギー性に優れた住宅とし、断熱等性能等級4を標準とした長期優良住宅、一次エネルギー消費量等級5の認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅を建設。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	新築戸建住宅のうち、在来工法木造の率が高い地域であるが、温暖な地域の為、省エネルギー対策を講じた断熱・気密性能の高い住宅ストックの比率が低い地域でもある。在来工法で伝統的に筋交い工法が多い地域ではあるが、より断熱性、機密性、耐震性を高めるために建物外周部の耐力壁のパネル化を提案していく。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域の気候で育った木材を使い、温暖な気候を生かし、自然通風、自然採光を積極的に取り入れ、近隣の景観に調和した低層の在来木造住宅とする。外観の基調色には、あまり派手な色、目立つ色を使用しない。また、光沢のあるものや反射光の生じるものは出来るだけ使用しない。	○
④①～③の背景	四国・中国地方を中心とした瀬戸内地方は、温暖で安定した気候であるため、一定の省エネルギー対策が講じられたストック住宅の比率が低い。愛媛県の住生活基本計画には、太陽光等の自然エネルギーを利用した省エネルギー性の高い住宅の比率を上げ環境負荷の低減を図り、低炭素社会を実現し、また、在来工法木造化率を上げ森林資源を活用すると謳われており、地域木材を積極的に利用することで地域の林業・木材関連事業者の発展に寄与していきたい。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	断熱性能を高めた住宅に、太陽光発電設備やHEMS、蓄電池を積極的に採用していくよう提案する。 また、断熱性能を高めると同時に気密性も高め適切な換気ができる様提案する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土台・柱は寸法規格が統一されているが、その他の材料も規格統一化を目指していく。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱結露対策を考慮し、気密性能を上げる建材や外壁の構造用耐力面材を選定し、統一を検討する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)に関する断熱関係の仕様は統一している。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)の給湯機器等、エネルギー設備に関しては、コストダウンも考慮し、実施していく。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後はグループ内の建築計画を把握し、調達資材の統一を目指し、事務の合理化を計っていく。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工構成員が中心となり技術委員会を開催し、現場や産学での勉強会を開催し検討する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が積極的に合理化提案を行い、技術委員会を活性化させる。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材、資材の統一化と技術委員会の合理化検討により、施工も標準化させ施工基準を整備していく。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造躯体組立完了時の構造検査及び断熱材施工完了時の検査を義務化。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材、建材、資材のプレカット化を推進する事により積算精度を向上させる。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会の開催等を通じ、活動をオープン化する事で信頼性を高める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	資材の規格化やプレカット化による現場での産業廃棄物の削減を目指し、環境負荷の低減を図る。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸のエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県、香川県、岡山県、兵庫県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) せとうちエコライフ推進協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0442-0665	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報、登録機関への登録義務化。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス機関の情報を、事務局より構成員に随時告知する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各登録機関への登録を証明する書類の提出。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡し後、1年毎に最低1回の点検を2年間実施する。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保保険の保証ルールに従い誠実に対応する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 写真もしくは任意の報告書による確認。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会に合わせて、お客様相談会やメンテナンス体験会を開催し、建築主に簡単な手入れを習得してもらう。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会に合わせて、お客様に大作業の簡単な体験をしてもらい、木造への関心を高めてもらう。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を通じて、設計相談会など、住宅に関係する相談会を実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、定期開催による意見交換を実施し、グループの品質向上にあたる。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報登録機関を積極的に利用し、確実な維持管理体制をとる。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の中から協議の上、代行構成員を斡旋する。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅トラブルに関するセミナーの告知など、積極的に学んでもらう。	○
その他	引渡し時の説明不足を解消し、施主様に安心して生活ができる様、勉強会を通じ知識を高めていく。	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術委員会の勉強会に合わせて開催し、技術向上に努める。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術委員会、維持管理委員会による意見撤回の上、共通ルールを設定していく。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工事施工時の工事写真による確認。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 4半期に一度のペースで状況を確認し、計画を策定していく。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造及び断熱に関する研修会の開催。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術委員会を通じ、完成物件を振り返りながら精査し、できるところから合理化に取り組む。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 51 今年度の参加目標人数 15	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 120 今年度の参加目標人数 30	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり開催情報の積極的な告知をする。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: セルロースファイバー等、性能の良い断熱材の積極利用。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	技術的な講習会や研修など、事務局が中心となり、外部の勉強会にも積極的に参加し個々の知識を増やしていく。	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸のエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県、香川県、岡山県、兵庫県														
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) せとうちエコライフ推進協議会	(結成年) 2015 年														
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0442-0665															
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄														
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>1棟当たりの地域材の使用量は変動するが、主要構造材の50%以上。 土台は桧、柱は桧・杉の地域材(認証材)を90%以上とする。 他主要構造材は合法木材を使用。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>土台</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>梁・桁等の横架材等</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>可能な限り、愛媛、高知など四国産材を使用し、スムーズな供給が難しいものに限り、外地域材を使用する。</p> <pre> graph LR A[原木供給者] -- 出荷証明 --> B[製材・集成材製造・合板製造業者] B -- 出荷証明 --> C[プレカット] C -- 合法木材証明 --> D[施工] </pre>	土台	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	梁・桁等の横架材等	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
土台	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している															
柱	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している															
梁・桁等の横架材等	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している															
羽柄材	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している															
造作材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している															
	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している															
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している															
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が取りまとめ、定期的に情報発信する。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 相場の変動状況を事務局より定期的に発信し、周知を図る。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材供給側の情報と契約・着工情報を把握しながら供給に支障が出てくる前に、事務局と構成員とが協議し対応をしていく。</p>	○														
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 70 枚</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 200 坪</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 50 枚</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30 枚</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和紙や木材など、お客様への提案を積極的に行う。</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	○														
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統的なデザインは特に見当たらないが、採風や通風が自然にできる設計を心がける。</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 現場見学会等を通じて、お客様向けに情報発信、提案をしていく。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 周辺の景観に調和した外観デザインを提案し、地域の街並を守る様提案し、心がける。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和の住まいの良さを情報発信し、お客様に伝えていく。</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> <p>仕上材の一部として木材やその他地域で生産される建材などを使用する。</p>	○														
カ. その他																
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄														
東日本大震災の復興に資する取組	被災地域で製造されている建材など、使用できるものは積極的に使用し、復興に少しでも寄与できる様努める。	○														
平成28年熊本地震の復興に資する取組	グループ内の構成員への応援要請等の情報を共有し、積極的に支援に協力する。	○														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

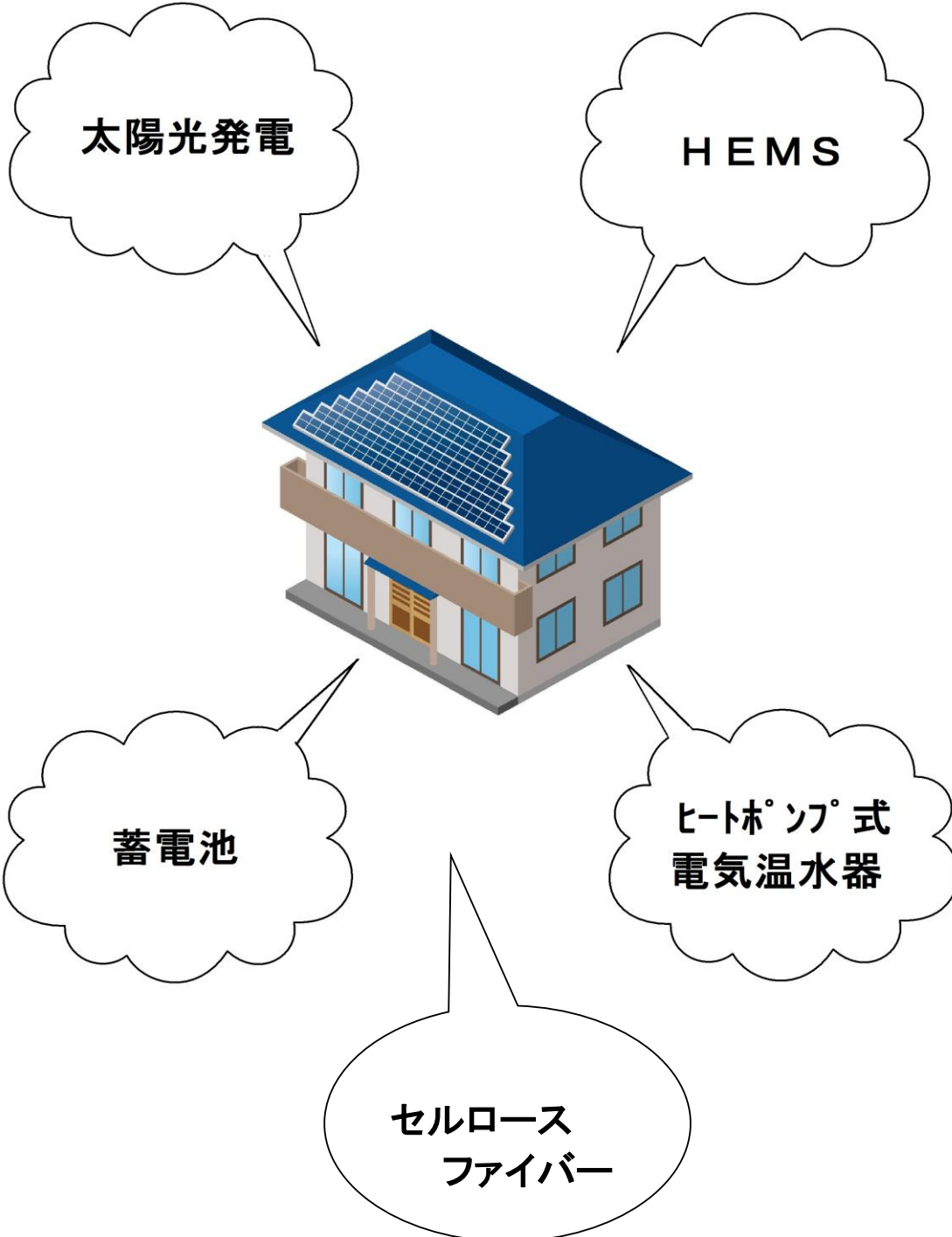
1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸のエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県、香川県、岡山県、兵庫県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) せとうちエコライフ推進協議会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0442-0665	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。